

日本版SDGsの指標ならびにGISを活用した可視化検討

分科会提案者：国際航業株式会社、ESRIジャパン株式会社

参加メンバー 自治体2団体、民間計9団体、計11団体 アドバイザー3団体

【メンバー】静岡県静岡市、東京都日野市、東急総合研究所、大日本印刷(株)、(株)ミチクリエイティブシティデザイナーズ、(株)ポリテック・エイディディ、(株)エムシープランニング、大和ハウス工業(株)、(株)スペースキー、横浜市資源リサイクル事業協同組合、NPO法人 まちづくりJAPAN、

【アドバイザー】慶応義塾大学SFC研究所xSDG・ラボ、法政大学 川久保研究室、国立研究開発法人国立環境研究所

分科会での活動概要

- 活動①**：既往研究ならびに指標の精査・指標作成に資する統計データの整理
- 活動②**：モデル都市における具体的な指標の標準化に関する意見交換（計4回）
- 活動③**：政策進捗と指標モデルの整合性を検証し、GISによる可視化・表現方法の検討

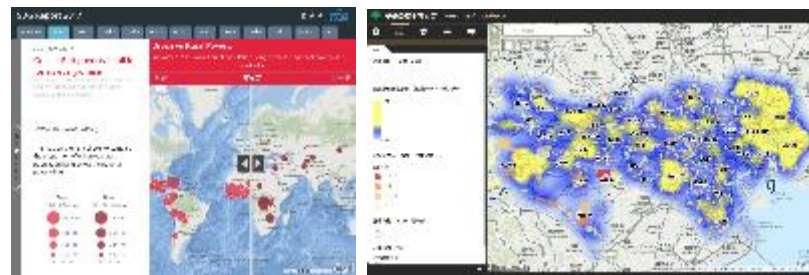
回	各回の概要
第1回	10月18日12:00~13:30、国際航業本社会議室 - 内容：キックオフ会議、川久保先生講演
第2回	11月8日9:30~11:30、国際航業本社会議室 - 内容：蟹江先生講演、自治体からの話題提供
第3回	12月4日10:00~11:30、国際航業本社会議室 - 内容：日野市を題材とした検討 その2
第4回	12月14日15:00~17:30、大日本印刷市谷か賀町ビル - 内容：川久保先生講演、日野市を題材とした検討 その3



分科会の活動成果

成果①：都市のあり方と進捗管理のための指標の検討
バックカスティングの考えに基づいた都市のあり方と、そのための進捗を測るための指標について議論を深めた。

成果②：報告書公開及び成果報告会の開催
これまでの分科会活動を取りまとめた成果報告書を作成し公開成果報告会を実施した。



マップに可視化し、進捗状況の確認や市民への公開を行います

今後の課題・展望

【課題】

- 可視化におけるデータの整備方法の検討
- バックキャストの考え方に基づく指標、定性的な情報の可視化の検討

【展望】

自治体をモデルとした上記課題の実証的な取り組み